

新しい県総合計画の「中間とりまとめ（案）」の概要

中間とりまとめの趣旨

- 総合計画審議会におけるこれまでの調査審議の内容を整理し、議論の大意をまとめたもの。今後、中間とりまとめの内容を基本としながら、県民の皆様のご意見なども踏まえ、さらに具体的な内容について調査審議を進めていく。
- （全体構成は、概ね 2050 年頃を展望した「いばらきの目指す姿」を示す『基本構想』、今後5年間の政策展開や地域づくりの基本方向を示す『基本計画』、重要性・緊急性の高い課題に対応するため今後5年間に優先して取り組む『重点プロジェクト』の3層構造で構成する。）

【第1部 基本構想】

(2050年頃を展望)

※計画名称については、今後、基本理念に合致した名称を検討。

1-1 時代の潮流と茨城の特性等

(1) 時代の潮流 (県民が一体となって対応すべき重要な視点)

- ・ 急激な人口減少と超高齢化の進行
- ・ 社会経済のグローバル化と交流の拡大
- ・ 大規模自然災害の切迫とインフラの老朽化
- ・ 資源・エネルギーの制約や地球環境問題の深刻化
- ・ 情報通信技術（ICT）等の劇的な進歩
- ・ 生活の安全と安心を求める意識の高まり
- ・ 価値観の変化とライフスタイルの多様化
- ・ 女性が活躍する社会づくりの要請
- ・ 地方分権改革及び広域行政の進展
- ・ 2020年東京リリック・パラリリック及び茨城国体の開催

(2) 茨城の特性

- ・ 恵まれた地理的・文化的な特性 (豊かな自然・暮らしやすい環境・長い歴史と文化など)
- ・ 多様な産業と科学技術の集積
- ・ 国内外を結ぶ広域交通ネットワークの形成

(3) これまでの取組

- ・ 昭和36年に「後進県からの脱却」を掲げ、初めての総合計画を策定
- ・ 鹿島地区の開発、筑波研究学園都市の建設などの大規模開発
- ・ 高速道路、つくばエクスプレス、茨城空港などの発展基盤の整備
- ・ 県民所得の大幅な上昇、我が国有数の実力を備えた県として発展

1-2 いばらきの目指す姿

(1) 基本理念

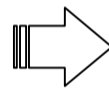
(仮称) 『みんなで創る ○○○ いばらき』

※『みんなで創る ○○○ いばらき』を基本フレームとし、今後、「明日」、「未来」、「次世代」などをイメージできる言葉を取り入れる。

- 質の高い生活環境のもとで、雇用がしっかりと確保され、誰もが個性や能力を発揮しながら主体的にいきいきと活躍できる「人が輝く元気で住みよいいばらきづくり」を推進します。
- 本県の優れた地域資源を磨き、最大限に活用しながら、新たな価値を創造し、日本や世界の発展に貢献します。
- 県はもとより、県民や市町村、企業、大学・研究機関、NPOなど、「みんな」で連携・協働して人口減少社会の中でも強い存在感を示す“きらめく”いばらきを目指します。

(2) 県民の求める『いばらき』

- 県民選好度調査、大学・高校生アンケート等で約5,000人の県民意向を把握
- 市町村意向調査で各市町村の意向をヒアリング
- 明日の地域づくり委員会等各種懇談会で各地域の課題をヒアリング



- 老後の安定した生活、医療・保健・福祉の充実
- 防犯・防災がしっかりした安全・安心な暮らし
- 結婚・出産・子育て支援の充実、女性の活躍促進
- 世界を視野に入れた教育、郷土愛教育の推進
- 競争力ある産業の振興、産業を支える人材の育成 など

(3) 目標と将来像

『人が輝く いばらき』

【将来像】

- 学校・家庭・地域が連携して、子どもたちの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てています。
- 郷土を愛し、様々な知識や能力を身に付けた人材が、地域をしっかりと支えながら、世界を舞台に活躍しています。
- 互いに違いを認め合い、一人ひとりが尊重されて、誰もがいきいきと活躍している社会が形成されています。
- 生涯にわたって学び続けられる環境が整備されるとともに、文化・スポーツなどを通じて、誰もが健康で明るく心豊かな人生を送ることができています。



『活力ある いばらき』

【将来像】

- 科学技術研究の進展や異分野・異業種間ネットワークの活性化等により様々なイノベーションが絶え間なく生まれており、日本の経済をリードする新技術・新産業の創出に繋がっています。
- 企業立地が一層進むとともに、ものづくり産業の高付加価値化、商業・サービス産業の育成などにより、持続的に雇用を産み出す産業が育っています。
- ニーズを捉えた安全・安心で高品質な農林水産物の供給により、高い収益性が確保され、意欲ある担い手による魅力ある農林水産業が育っています。
- いばらきの魅力や価値が国内外から広く認められ、人・もの・情報といった多様な交流が盛んな社会が形成されています。

『住みよい いばらき』

【将来像】

- ICTなどの技術も活かしながら、誰もが適切な医療・保健・福祉サービスが受けられる環境が整うとともに、結婚・出産・子育ての一貫したサポート体制が充実した社会づくりが進んでいます。
- 地域社会とのつながりが保たれたまちで、誰もがやさしさと潤いを感じながら快適な日常生活を送っています。
- 大規模災害や犯罪、原子力災害などに対する生活の安全がしっかりと確保され、安心して暮らし続けられる社会が形成されています。
- 豊かな自然を守り、上手に活かしながら、人と自然が共生する生活を送っています。

(4) 人口・経済の展望

(将来の人口・経済の見通しを示す。)

※茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略の人口ビジョンとの整合を図る。

1-3 計画推進の基本姿勢

- 全員参加のいばらきづくり
- 地域資源の発掘と最大限の活用
- 広域連携と権限移譲
- 適切な進行管理と行財政改革の推進
- 部門別計画との役割分担

【第2部 基本計画】 (5年間:H28~32年度)

2-1 政策展開の基本方向

3つの目標に対応する施策を12の政策分野に体系的に整理。

I 「人が輝く いばらき」づくり

<p>(1) 生きる力を育む教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 確かな学力の習得と活用する力の育成 ② 豊かな心と健やかな体を育み自立した人を育てる教育の推進 ③ 安全・安心で時代の変化に対応した魅力ある学校づくり ④ 家庭・地域の教育力の向上と学校との連携 	<p>(2) 地域と世界の未来を拓く人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自己実現を図るためのキャリア支援の充実 ② 地域を知り世界を志向するグローバル人材の育成 ③ 地域力を高める人材の育成 ④ 様々な分野をリードするスペシャリストの育成 	<p>(3) 一人ひとりが尊重され活躍できる社会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 人権を尊重し多様性を認め合う社会づくり ② 女性がいきいきと活躍できる社会づくり ③ 青少年・若者の挑戦を支える社会づくり ④ 高齢者の知識・経験・技能を活かす社会づくり ⑤ 障害者の自立と参加を促進する社会づくり 	<p>(4) 生涯にわたって学び合う環境づくりと文化・スポーツの振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 芸術や伝統文化に親しむ環境づくり ② 新たなクリエイティブ活動への支援 ③ 茨城国体の成功とスポーツに親しむ環境づくり ④ 生涯にわたって学び続けることができる環境づくり
--	--	---	---

II 「活力ある いばらき」づくり

<p>(1) 科学技術を活かしたイノベーションの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 今と未来の産業を担う人づくりとイノベーションネットワークの活性化 ② 革新的医療技術・ロボット等の実用化 ③ 持続可能な環境・エネルギーを実現する技術開発 ④ 新たな製造・生産技術の開発 	<p>(2) 日本の発展をリードする力強い産業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 産業拠点の競争力強化と企業立地の促進 ② 革新的技術等を活かした成長産業の創出 ③ 高付加価値を生み出すものづくり産業の育成 ④ 時代の変化に適応した商業・サービス産業の育成 ⑤ 中小企業の経営革新と経営力の強化 ⑥ 希望に応じた雇用・就業環境の整備 	<p>(3) 農林水産業の成長産業化</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 安全安心で高品質な農産物を安定供給できる産地づくり ② ニーズを捉えた商品づくりと販路の多角化 ③ 産地や地域を支える意欲ある担い手づくり ④ 県産木材の利用促進と林業・木材産業の振興 ⑤ 力強い水産業の確立と水産物の安定供給 ⑥ 美しく元気な農山漁村づくり 	<p>(4) 人・もの・情報が活発に行き交う交流社会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 個性を活かした魅力ある地域づくりと観光の推進 ② 広域交通ネットワークの充実と効率的な物流体系の構築 ③ IT・データの活用による情報交流社会の構築 ④ 対日投資の県内誘致
---	---	---	---

III 「住みよい いばらき」づくり

<p>(1) 少子高齢化に対応した医療・保健・福祉が充実した社会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 安心して結婚・出産・子育てができる社会づくり ② 高齢者が安心して暮らせる社会づくり ③ 障害者への生活支援の充実 ④ 安心できる医療体制の充実 ⑤ 安心な暮らしを支える医療・保健・福祉サービスの提供 ⑥ 生涯にわたる健康づくり 	<p>(2) 人にやさしい快適な生活環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 利便性が高く潤いのあるまちづくり ② ともに助け合う社会づくり ③ 快適な生活衛生環境の確保 	<p>(3) 安全・安心な暮らしが確保された社会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 災害に備えた強靱な県土づくりと防災・危機管理体制の強化 ② 原子力安全対策の徹底 ③ 犯罪に強い社会づくり ④ 消費生活と食の安全確保 ⑤ 交通安全対策の強化 	<p>(4) 人と自然が共生する持続可能な環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地球温暖化対策の推進 ② 資源を活かす循環型社会づくり ③ 霞ヶ浦・涸沼など湖沼環境の保全と活用 ④ 生活に身近な自然環境の保全と活用
---	--	---	---

2-2 地域づくりの基本方向

県内各地の地域資源を最大限に活用しながら、特色ある地域づくりを進める。

<p>(1) 目指すべき地域の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 産業振興や雇用の場の確保、交流人口の拡大を図り、地域間競争に勝ち抜くことのできる地域 ○ 災害への対応力、医療・保健・福祉、食の安全確保等が充実し、安心して子育てができ、誰もが安全・安心に住み続けることができる地域 ○ 一人ひとりが生きがいや充実感を感じ、心豊かな生活ができる地域 	<p>(2) 地域づくりを推進していくための3つの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい「協働」による地域づくり ○ 愛着や誇りのもてる地域づくり ○ 地域間連携と広域的な視点に立った地域づくり 	<p>(3) 地域区分の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現計画と同じ6地域区分（「県北山間」「県北臨海」「県央」「鹿行」「県南」「県西」）を基本とする。 ○ 地域の境界は、経済圏、生活圈等の実状を踏まえながら弾力的なゾーン設定を行う。 ○ ゾーンを越える課題に対応するため、隣接県との連携を含めて、ゾーンを横断する取組みについても記載する。
---	--	--

【第3部 重点プロジェクト】 (5年間:H28~32年度)

3-1 重点プロジェクト

分野横断的に優先して取り組むべきテーマについて、「重点プロジェクト」を設定し、時代の潮流や本県の特性・優位性を最大限に活用しながら、積極的に課題の解決を図る。

〔プロジェクトのテーマ(案)〕

- 地域医療・介護に関するもの
- 防災・治安・交通安全に関するもの
- 環境・エネルギーに関するもの
- 結婚・出産・子育てに関するもの
- 子ども・若者の育成に関するもの
- 高齢者の活躍に関するもの
- 女性が輝く社会づくりに関するもの
- 競争力ある産業の育成と雇用の創出に関するもの
- 農林水産業の成長産業化に関するもの
- 国際化・観光・交流の拡大に関するもの
- 県北地域の振興に関するもの
- 茨城国体、東京リリッパ・パ・リリッパを契機とする取組に関するもの など

※プロジェクトの具体的な内容等については、引き続き検討。

【これまでの検討経過】 (1) 総合計画審議会における調査審議の経過 (2) 懇談会等を通じた県民意向の把握 (3) 各種調査等を通じた県民や市町村の意向の把握
【全体構成】 ○ 全体構成(案)